

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

創造・改革・挑戦の信念をもって、人間生活・産業・自然との共生を目指し、社会に貢献する

処理能力
4,000t/日

最終処分場残容量
15,000千m3以上

年間埋立計画量
1,250千m3

公民連携エリア数
12エリア

② 中長期の経営戦略

1. 資源循環システムの高度化

再資源化品供給量拡大と動脈市場へのワンストップサービス提供。焼却灰などの高付加価値物受入により最終処分場の容量あたり売上高を最大化

3. M&Aによる事業拡大

廃棄物受入量拡大が見込める案件に積極対応。関東エリアでの案件獲得に注力。焼却等熱処理施設や最終処分場についても積極検討

2. 自治体との関係深化

2025年3月期中487自治体と取引。協定締結を通じた課題解決により取引自治体数の拡大と関係深化を図る

4. 焼却等熱処理施設更新

既存施設を高効率な熱回収施設へ更新。公民連携による新施設稼働に向けた許認可手続きと工事を計画的に推進

③ 対処すべき課題

① 人口減少と財源課題

- 自治体の公設施設整備が困難化。民間資金活用や委託増加に対応
- 自治体の財政健全化が喫緊課題。民設民営による効率的インフラ整備が必要

② 循環経済への転換

- 廃棄物処理法施行50年余。社会要請の脱炭素化・循環経済対応が急務
- 再資源化施設の拠点数と許可能力を活かし循環経済への転換を推進

③ 業界再編と人材確保

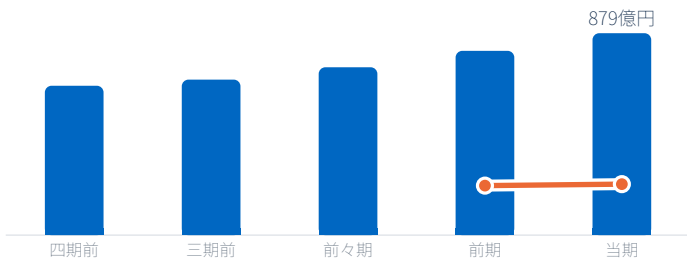
- 廃棄物処理業は超分散型市場。小規模事業者が多く後継者不足が顕在化
- 新增設とM&Aに伴い管理者や有資格者など人材の大量育成・採用強化が必須

面接で使えるポイント

- 経営理念『創造・改革・挑戦』のもと、地域信頼を最大の強みとして廃棄物処理・資源循環を通じた社会インフラ機能を担当
- D-Plan2028で2031年3月期の処理能力4,000t/日、公民連携12エリア達成を目指す成長戦略を推進中
- 人的資本経営により従業員エンゲージメント向上と人材育成を推進し、持続的な企業価値向上を実現

証券コード 9336

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
879億円営業利益率
25.3%財務健康度
66点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 49.6（当サイト算出の参考指標）

平均年収
601万円

サービス業内 246位/524社

平均年齢
42.4歳

サービス業内 125位/527社

平均勤続
9.0年

サービス業内 173位/527社

女性管理職
4.5%

サービス業内 342位/371社

男性育休
104.0%

サービス業内 12位/311社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 東証プライム上場でさらなる成長へ。廃棄物処理事業を支えた「信

